http://www.jaaso.or.jp/

JAあそだより

平成27年1月

あけまして おめでとう ございます

大観峰付近から望む初日

■今号16ページ主な内容

- 「新年のご挨拶」工藤保雄組合長
- 女性部フォーラム～家の光大会～開催
- 各地域で多彩なイベント開かれる！
- 阿蘇の郷土料理を活かした「食育」で元気に

ほか、JA阿蘇の話題を満載！！

2015 新年

VOL.78

JA阿蘇農業協同組合

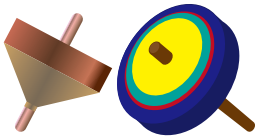
本所　〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5

TEL 0967-22-6111／FAX 0967-23-1088

新年のご挨拶

「農業振興」と「地域振興」に奇与し より信頼され、選ばれる農協を目指して

阿蘇農業協同組合
代表理事組合長　**工藤　保雄**



新年、明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、ＪＡ事業に対し深いご理解とご支援を賜り、役職員を代表致しまして心よりお礼申し上げます。

今日の農業、農村そして地方を取り巻く状況は依然として厳しいものであります。特に政府、与党が聖域を守ると約束してきたＴＰＰ交渉は、充分な情報開示がなされないまま、続けられていますが、唐突な進展を危惧しております。

また、あまりにも拙速に示された新しい農業政策は真摯に、国の政策を守ってきた我々にとっては、落胆のするものであります。そしてなお追い打ちをかけるような農協改革の一方的な議論には、激しい憤りを感じます。

農協は組合員の扶助組織であります。そして、その役割は「農業振興」と「地域振興」に奇与することであり、これを果たして行くためには、総合事業による多様なサービスの提供が不可欠であります。ＪＡグルーでは、組合員自らの意思に基づく自己改革内容の取りまとめを行い、今後５年間を自己改革集中期間として、自らの事業・組織改革に徹底して取り組んで行くことを決定致しました。そして、その内容を基にＪＡ阿蘇としての特長を生かした改革を進めなければなりません。

尚、組合員はもとより地域住民や利用者の方々により一層、信頼され選ばれるＪＡを目指し積極的な事業活動を図っていく所存であります。皆様の更なるご支援とご協力の程よろしくお願い致します。

昨年は、豪雨や大雪など様々な自然災害に大きな影響を受けております。また、阿蘇中岳噴火の一日も早い終息を祈るばかりであります。

結びになりますが、年頭にあたりまして、組合員の皆様のご健勝と共にご家族の皆様にとりましても、良い一年になりますことを祈念致しまして、新年のご挨拶と致します。

2014年産イチゴ 6月中旬までに120万パック出荷 販売高3億8000万円をめざす

＝阿蘇中部イチゴ部会＝

ＪＡ阿蘇中部イチゴ部会は10月下旬、14年産イチゴの出荷を始めました。14年産イチゴの作付けは9ha（前年比97％）で、品種は「さがほのか」「紅ほっぺ」「かおり野」となっています。同年は育苗時期の日照不足や台風の影響などで生育が心配されましたが、定植後の好天候に恵まれ例年より4日早い出荷となりました。

初出荷を迎えた生産者の江入敏雄さんは「台風を心配したが、無事に初出荷を迎えることができて良かった。今後、長丁場での出荷となるので栽培管理に力を入れ、多くのイチゴを消費地にPRしたい」と意気込みを語っていました。また、担当の岩下愛広職員は「今年（平成26年）は9月からの朝晩の冷え込みにより、食味・品質とも問題ないので、自信を持って販売していける」と抱負を語っていました。

今後の出荷については、6月中旬（平成27年）までに出荷量120万パック、販売高3億8000万円を計画しています。（写真上＝江入敏雄さん〈右〉と岩下愛広職員）

幅広い用途で人気「トルコギキョウ」11月までに50万本を出荷

＝白水地区＝

白水地区では、贈答や冠婚葬祭など幅広い用途で人気が高いトルコギキョウの出荷最盛期を9～10月に迎えました。同時期に出荷されたものは7月上旬に定植されたものです。

白水地区のトルコギキョウ栽培面積は200aで、50種以上の品種が栽培されています。品種については、生産者が自ら品種の特性や花の彩りを見て決めており、生産者によっては毎年違った品種を栽培しています。

市場担当者からは「他産地と比較しても品質がよく、数量もまとまっているので安心して販売できる」と評価を得ており、白水地区は重要な産地として位置づけされています。

生産者の住吉昭一さんは「品質の良い花を作るために、こだわっているのは土作り」と話し、品種選定時においてもカタログだけではなく、栽培現場も見ることで自分のイメージに合ったものを選んでいます。出荷先は福岡を中心とする九州管内で、取材時（9月中旬）には日量6000本が出荷されていました。2014年産の出荷は、11月までに約50万本が予定されています。（写真上＝生育状況を確認する担当職員＝平成26年9月18日撮影）

大阪市東部中央卸売市場開設50周年 JA阿蘇へ橋下大阪市長から感謝状

市場関係者から工藤組合長へ手渡される感謝状

ＪＡ阿蘇が多年にわたり大阪市東部中央卸売市場に出荷し、市場の発展と市民の食生活の安定と向上に貢献したとして、同市場開設50周年にあたり、平成26年11月21日、橋下徹大阪市長からの感謝状が工藤保雄組合長へ贈られました。

感謝状

多年にわたり大阪市東部中央卸売市場に出荷し市場の発展と市民の食生活の安定と向上に貢献され市場開設五十周年にあたり市場開設五十周年に際し感謝の意を表します

平成二十六年十一月二十一日

大阪市長　橋下　徹

阿蘇農業協同組合殿

ＪＡ阿蘇へ贈られた感謝状

杉本春子さん（蘇陽支部）の「もろ味漬け」が最優秀賞

＝女性部加工品コンクール＝

最優秀賞に輝いた「もろ味漬け」

ＪＡ阿蘇女性部は９月26日、ＪＡ阿蘇中部事業所で「２０１４年度加工品コンクール大会」を行いました。大会にはＪＡ役職員ら20人が審査員として参加。各女性部員が出品した加工品計13品の色合い・味・商品価値などをアンケート結果をもとに試食・審査しました。審査の結果、蘇陽支部の杉本春子さんの「もろ味漬け」が最優秀賞に輝きました。

杉本さんは「今後も様々な食品を用い、もろ味漬けに加工してみて、商品化していきたい」と抱負を語っていました。工藤保雄組合長は「伝統的な加工品、新たな加工品を楽しみながら審査しました」と話していました。

今大会で３回目となるコンクールは、六次産業化に繋がっていくことを目指し、毎年開催の予定です。最優秀賞の杉本さんらは11月に阿蘇市で行われた「女性フォーラム（家の光大会）」で表彰を受けました。

↑ 加工品コンクール審査員の皆さん ／ 審査風景 →

『農家の声、届けます！』出向くＪＡ＝ＴＡＣ進発式

専用車前で工藤組合長と担当職員の皆さん

ＪＡ阿蘇は11月４日、ＴＡＣ（Ｔ＝とことん、Ａ＝会って、Ｃ＝コミュニケーション）の進発式を行いました。専任業務となったＴＡＣには専用車３台が配置されました。

ＴＡＣとは「地域農業の担い手を訪問し、意見や要望を聞き、的確に応え、農業者・経営者に役立つ各種情報を伝え、持ち帰った意見はＪＡグループの業務改善につなげる営農経済渉外担当」のことです。

進発式で工藤保雄組合長は「ＪＡ改革の中、その一翼を担う存在になってもらいたい」と激励しました。ＴＡＣを代表して宅野禎也職員が「ＪＡが農家を訪問する、出向くＪＡへの取り組みで、農家の意見や要望をＪＡの声として生産者につなぎ、ＪＡのよりよい運営に寄与できるよう頑張ります」と応えていました。

電気自動車３台が営農部にリース

平成26年11月20日、三菱自動車より阿蘇の世界農業遺産認定を記念して３台の電気自動車がＪＡ阿蘇営農部（南・中・小国郷営農部）に無償でリースされました。期間は平成27年４月末までとなっています。（写真右＝リースされた３台の電気自動車）

地域の特産物展示や即売会、多彩なイベントで賑わう！

「西原村ふれあいまつり」

西原村の農業・福祉・文化活動などの様子をもっと知り、そして参加体験する祭典「第15回西原村ふれあいまつり」が11月16日、西原中学校の校庭をメイン会場として開催されました。

当日は晴天に恵まれ、会場の特設テントでは農産物や農産加工物の展示・即売会や、甘藷や里芋の品評会、農機具・自動車の展示会などが行われました。特設ステージでは、こども夢運太鼓、からいもダンサーズのパフォーマンス、豪華おたのしみ抽選会など多彩なイベントが繰り広げられ、多くの人で賑いました。

「西原村ふれあいまつり」では、甘藷や里芋の品評会、ステージでは多彩なプログラムが繰り広げられた

「小国郷収穫感謝祭」

小国郷中央支所の野菜集荷場で11月22日、第14回収穫感謝祭が開かれ、約700人の来場者で賑わいました。会場ではJA職員による各種バザーや青壮年部・女性部・生産部会による焼き芋や阿蘇王の焼肉・精肉販売コーナーなど多数が設けられ、大勢の客で長蛇の列ができました。特設ステージでは「それいけ！アンパンマンショー」、女性部による「スコップ三味線」「小国高校ブラスバンド部」による演奏などが披露されました。イベントの最後には福引大会が行われ、豪華賞品に参加者は楽しい一日を過ごしました。

大好評の焼き芋や焼肉コーナー、ステージでのパフォーマンスも大盛況！「小国郷収穫感謝祭」

女性部の更なるパワーを発揮し、積極的に活動し、地域づくりに貢献しよう！

JA阿蘇女性部フォーラム ～家の光大会～開催

「加工品コンクール」表彰式や「ちゃぐりん感想文」発表など行う

フォーラムに参加した女性部の皆さん

「第12回ＪＡ阿蘇女性部フォーラム～家の光大会～」が11月13日、阿蘇の司ビラパークホテルで開かれＪＡ阿蘇関係者ら２００人が参加しました。開会に先立ち、オープニングセレモニーとして宮崎晄治さんのマジックショーが披露され、華やかな芸に会場が一気に盛り上がりました。9月に開催した「加工品コンクール表彰式」も行われ、栃原清子女性部長より最優秀賞の杉本春子さんら6人に表彰状と記念品が贈られました。

「家の光」普及活動では南阿蘇支部、「ちゃぐりん」普及活動では高森支部と高森支部フレッシュミズに家の光協会から感謝状が贈られました。

主催者挨拶で栃原部長は「現在の農業は多くの問題を抱え大変厳しい状況に置かれている。このようなときこそ女性部のパワーを発揮して積極的に活動し、地域づくりに貢献していきましょう」と述べました。

恒例の「ちゃぐりん感想文」発表では、坂梨小4年の岩下ふうさん、久木野小4年の久永錬くん、南阿蘇西小の藤本絢子さんが受賞し、ステージで朗読すると大きな拍手を浴び、栃原部長から表彰状と記念品が贈られました。

活動発表では蘇陽支部・高森支部・南阿蘇支部が日頃の体験や活動内容を語りました。講演では中村勝子さんが『残された日々を皆と生きる～わたしの歩いた道～』という演題で、これまでの貴重な体験エピソードを話し賑やかな講演となりました。

（※「ちゃぐりん感想文」は次ページに掲載しています）

写真上＝宮崎さんのマジックショー／写真中＝ちゃぐりん感想文を発表した右から藤本さん、久永くん、岩下さん／写真下＝会場で展示された女性部員の手作り作品

ちゃぐりんフェスタin高森東小

ロング巻寿司で新記録21・25m!!

ＪＡ阿蘇営農部は10月14日、高森東小学校でちゃぐりんフェスタを開きました。この企画はＪＡの食農教育の一環で今回が4回目の開催です。当日は児童や保護者ら80人が参加し、ロング巻寿司に挑戦しました。体育館に一列に並び、マキスの代わりに簾（すだれ）を用いて指揮者の号令でいっせいに巻き上げました。

その結果、前回の記録14m52cmを大幅に更新する21m25cmの新記録を樹立。参加した児童らは「ロング巻寿司はとても美味しかった。こんな長い巻寿司は初めて作った。無事、完成して嬉しかった」などと、興奮した様子で感想を述べていました。昼食後にはＪＡ職員による世界農業遺産の勉強会やクイズ大会などが行われました。ちゃぐりんフェスタは、阿蘇管内の小学校を対象に毎年開催の予定です。

（写真左＝ロング巻寿司作りに挑戦した「ちゃぐりんフェスタ」の児童・保護者の皆さん）

◆『ちゃぐりん感想文』

「ちゃぐりんまごおもしろかぁ」

久木野小学校4年
久永　れん

ガチャンと音がする。すぐさまポストを見る。そこにちゃぐりんがある。ワクワクする。ぼくは、ものすごくちゃぐりんが好きだ。おもしろいし勉強になるから好きなんだ。とくに好きなのは、二つある。一つ目は、命のれきしだ。8月号は、横井時敬さんのお話。

横井さんは、子どものころなんかん熊本洋学校を最年少として入学した。負けずぎらいで、どりょく家な少年だった。大人になると、実のつまったたねもみを、塩水でせんべつする塩水選しゅ法を発表して米の生産せいを上げる事に成功した。その後かれは、調教農学校のせき人者となり、同時に、農学の本を出した。横井さんは、「近代農学の祖」とよばれている。

ぼくは、このお話を読んで横井さんは、日本の農業のために人生をささげ、今の日本の農業に役立っていると思った。もっとたくさんの命のれきしを読んで、この人たちみたいに日本のためになることをすると決めた。

とくに好きな二つ目は、かいじゅうバスターズだ。みつき楽しみにしている。これは、いろいろなかいじゅうがでてきて、そのかいじゅうをせいぎのみかたが、いろいろなこうりゃく法でたおしていくものだ。今月号のかいじゅうは、百目ま女だった。こうりゃく法で口ボきなこパパが頭を光らせてひっさつわざ「サンシャイーン」をしたところが最高だった。ぼくは、かいじゅうバスターズを最初に見たときこれまでにあじわったことのないおもしろさだと思った。毎月かいじゅうバスターズにどんなかいじゅうがでてくるか楽しみだ。

ちゃぐりんがおくられてくるのがまちどおしくてたまらない。ちゃぐりんかんしゃ、本当にありがとう。

「戦争は人を鬼にする」を読んで

坂梨小学校4年
岩下　ふう

わたしは、戦争がある時代に生まれなくて良かったです。わけは、三百十万人もの人が戦争のぎせいになったからです。六十九年前、第二次世界大戦があっていて、小林減八さんは十七さいでしがん兵になりました。兵士の食べ物は十分ではなく減八さんたちわかい兵士さんはいつもおなかをすかせていて、食べ物はわずかでみんなガリガリにやせ目も落ちくぼんでいたそうです。

減八さんは、フィリピンでてきの魚雷が命中しのっていた船が二つにわれ海になげだされサメのむれの中でなかまは、つぎつぎとサメのえじきになる中で、きせきてきにたすかりました。終戦後は、ほりょとしてみなとをつくる作業をしていてしゅくしゃの回りには、電気が流れたてっせんがはってありどこにもにげばがなかったそうです。マラリアなど病気で命をおとすなかまも多く、くるしそうにうめく人にかける言葉は「うるせい！」と言うだけでした。やさしい言葉をかけるよゆうもなく「しずかになったから見てこい。」と言われ見に行くと息を引き取っているということのくりかえしです。うえの苦しみでいっぱいで仲間が死んでもなみだすらでなかったそうです。わたしは、知っている人が死んだらなみだをだすと思います。その時減八さんは、まるで鬼だ。おれたちは、鬼になってしまったんだ……自分の心もつめたい石になったようでゾッとしたそうです。本当ならば、なみだをながすはずなのに戦争があったから、心まで鬼になったと思います。

わたしはこの話を読んで今は食べ物がたくさんあって食べたい時におなかいっぱいたべれるし、おいしい物があるので毎日幸せです。しかし、この話を読んで戦争は二度とやってはいけないと思いました。わたしたちは今幸せだけど昔は、きつい思いをしてくるしかったんだなと思いました。それだけではなく、人が死んでもなみだもながせない冷たい心になってしまいます。だから、これから先ぜったいに戦争はしてはいけないと思います。

「ちゃぐりん8月号」を読んで

南阿蘇西小学校4年
藤本　絢子

私は、「きみの体は、なにでできている？」という話が一番心にのこりました。題名をみたとき、自分の体が何で

※次のページに続く

※前のページより続く

できているかなんて考えたことがなかったから、どんな話なんだろうと思って読みはじめました。

私は、お母さんやお父さんにいつもいつも「野菜も食べなさい。」と言われます。本当は、食べたくないけど、がまんして食べていました。でも、この話を読んで野菜を食べようと思いました。野菜には、肉や魚を体に取り入れやすく変えてくれる力があると分かったからです。それに野菜には、実・葉・根芽の種類があることをはじめて知りました。その一つだけの種類では、だめだともはじめてしりました。人の体は、食べ物でつくられているとは、思っていなかったので、この話を読んでよかったと思いました。

これからは、肉や魚だけではなくいろいろな種類の野菜を食べていきたいと思います。ほかの生き物の命をいただいたり、力をかりたりして元気な体を作っていくので、「ありがとう」と思いながら食べていきます。

次に、「牛乳パックで工作」というきじは、楽しかったです。いくつか作品がのっていたけど私の作りたいのは「ポンポンボール」です。きれいな丸になったらうれしいです。

ちゃぐりんには、りょうりのつくり方や、工作のやり方ものっているし、お話やマンガや、クイズものっています。それに世界の友達のことやかぞくの話などいろいろのっていたので、楽しく読めました。ちゃぐりん広場には、よその小学生の人たちの作品がたくさんのっていたので、それをみてじょうずだなーと思いました。9月号もよんでみたいです。

旬の農産物を紹介するだけではなく、地域再生や農業の多面的な役割等を伝えるテレビ番組 KABの「Do You のうぎょう？」「小国郷ホウレンソウ部会」と「小国郷かんしょ部会」を取材

「Do You のうぎょう？」の取材が9月24日、JA阿蘇小国郷ホウレンソウ部会の副部会長・時松達也さんの圃場で行われました。「小国郷で育つホウレンソウはエグミが少なく、甘みがあって、とってもおいしかて評判ばい」と、ホウレンソウの特徴などをPRしました。当日取材された番組は10月10日、熊本朝日放送（KAB）で午後7時54分から放送されました。

時松さん夫妻熱演の「小国郷ホウレンソウ」撮影風景

11月20日、「Do You のうぎょう？」の取材が、JA阿蘇小国郷かんしょ部会の部会長・佐藤三代司さんの作業場で行われました。「『レンジでチン・小国紅』ばい。電子レンジで温めるだけで、スグに食べられるユニークな商品として大人気ばい！」と、「小国紅」の特徴などをPRしました。当日取材された番組は12月5日、KABで午後7時54分から放送されました。

佐藤夫妻とJA職員も参加して小国郷かんしょ「小国紅」撮影の様子

JAバンク熊本・年金友の会 親善グラウンドゴルフ大会 JA阿蘇の江藤晃さんが最高齢選手

RKKのインタビューを受ける江藤選手

「第16回JAバンク熊本・年金友の会親善グラウンドゴルフ大会」が11月12日、パークドーム熊本で開かれ、県内JAから500人が参加しました。この大会は、組織拡大と会員相互の親善と融和を深めることを目的に毎年開催されています。JA阿蘇からも地区予選を勝ち抜いた45人が参加。試合はA・Bブロック4コートに分かれ行われ、選手の皆さんは日頃の練習成果を発揮し熱戦を繰り広げました。残念ながら入賞者はありませんでしたが、皆さんは楽しい一日を過ごしました。

全参加選手の最高齢者として、JA阿蘇の江藤晃選手(93歳)がRKKのインタビューを受けました。

阿蘇地区から出場した選手の皆さん

♪♪ 交通ルールを楽しく学ぶ ミュージカル開催 ♪♪

JA阿蘇共済部と共済連熊本は10月17日、阿蘇市体育館で「親と子の交通安全ミュージカル」を開きました。

当日は阿蘇管内の保育・幼稚園児ら約500人が参加しました。

ミュージカルの題名は「魔法園児マモルワタル」で、魔法使いの園児が人間世界で、おまわりさんと一緒に交通ルールを学ぶストーリーです。園児の代表が舞台に上がり、出演者と一緒に横断歩道を渡ったり、信号機の色の意味を確認したり、観客も一つになって交通安全をテーマにした歌を歌うなど、交通ルール楽しくを学びました。

(写真上=ミュージカルのひとコマ)

晩秋の南阿蘇を満喫 「まるごと阿蘇ウォーキング」

写真上・下=まるごと阿蘇ウォーキングの様子

JA阿蘇は11月1日、「まるごと阿蘇ウォーキングin南阿蘇」を開催しました。同イベントは「健康寿命100歳プロジェクト」事業の一環として今年で3回目となります。今回は、南阿蘇村「あそ望の郷くぎの」を発着点にアスペクタまでの5km、竹崎水源までの10kmコースに加え、今、パワースポットとして注目を浴びている「免の石」トレッキングコースが新設され、県内外から120人が参加しました。

主催者を代表し工藤組合長が「秋深まる雄大な阿蘇の大自然を満喫して、ウォーキングを楽しんでください」と挨拶。久木野保育園のマーチング演奏で参加者はコースごとに次々と出発しました。熊本市内からの参加者は「阿蘇の大自然を楽しみながら歩けてよかった。ぜひ、来年も参加したい」と感想を述べていました。参加者には女性部が阿蘇の野菜を使ったのっぺ汁とおにぎりを振る舞い、豪華賞品が当たる抽選会も行われ、参加者は楽しい一日を過ごしました。

「まるごとあそっ子スクール」活動報告！

第4回（10月25日）西原村　喜びの甘藷収穫祭
第5回（11月15日）小国郷　地産地消の料理教室

苦労した後には…、美味し～いご飯！

10月25日、西原村で「あそっ子甘藷収穫祭」が行われました。収穫祭には阿蘇管内の小学生や保護者ら約90人が参加しました。5月に定植しサツマイモの生長を待ちに待っていたあそっ子らは、地元の青壮年部盟友より収穫方法の説明を受け、いっせいに圃場へ飛び込みました。大きなイモを掘り上げると友達同士で比べあったりして、周囲からも大きな歓声が上がっていました。採れたてのイモは、さっそくバーベキューの材料にも使われました。あそっ子からは「イモ掘りは汚れて大変だったけど、焼いたイモは甘くてとても美味しい」と、笑顔がこぼれていました。

大きなサツマイモをゲット！

収穫したサツマイモはバーベキューに！

「甘藷収穫祭」参加者全員で記念撮影

「いきなりだご」や「だご汁」など作る！

今年度5回目となる「まるごとあそっ子スクール」は11月15日、小国郷中央支所情報企画センターで「地産地消の料理教室」が行われました。阿蘇の郷土料理である「いきなりだご」や「だご汁」の他に「もったいない野菜巾着」と題して、普段は使わない野菜の皮を具材とした巾着作りをしました。あそっ子らは慣れない包丁さばきに戸惑いながらも、一生懸命に調理をしました。出来上がった料理を食べたあそっ子らは、「とても美味しい。これなら野菜も食べられる」と満足そうでした。

料理教室に参加したあそっ子とJAスタッフの皆さん

女性部スタッフの指導で調理するあそっ子

なんか、い～い感じ？

JAの信頼と実績
シロアリは一年中活動しています
床下無料調査実施中
シロアリ防除はJAへ

水土里ネット阿蘇の体験学習会「田んぼの学校in阿蘇ん里」開催

メッセージや夢を書いた牧草ロールを背に、参加者全員が記念撮影

水土里ネット阿蘇（阿蘇土地改良区）は9月23日、大阿蘇環境センター未来館広場で「田んぼの学校in阿蘇ん里～世界が認めたすばらし阿蘇を発見！～」と題し、体験学習会を開きました。　当日は阿蘇市内外の小学生と保護者ら約80人が参加。秋晴れの下、農地や農業用水が果たしている多目的な役割などを学びました。また、阿蘇の世界農業遺産認定をPRするために、牧草ロールにメッセージや子供たち一人一人の夢を書き記念撮影をしました。

子供たちは稲刈りや魚や米のつかみ取りも体験し、有意義な一日を過ごしました。

JA阿蘇旗争奪「学童わんぱく野球」一の宮マリンズが4連覇！準優勝は小国少年野球クラブ

優勝した「一の宮マリンズ」（写真上）と準優勝の「小国少年野球クラブ」

10月26日、第8回JA阿蘇旗争奪学童わんぱく野球大会が一の宮総合運動公園で開かれ、阿蘇郡市の小学生で構成する8チームが参加、熱戦を繰り広げました。開会式では原山常務が「大会に向けて練習してきた成果を十分に発揮し、最後まで頑張ってください」と激励。選手を代表して一の宮マリンズの髙木凛太君が元気に選手宣誓を行いました。試合は順調に行われ、一の宮マリンズが4年連続で優勝。準優勝に小国少年野球クラブが輝きました。

熊本市の錦ケ丘中学校生徒が阿蘇の郷土料理に挑戦！

阿蘇の郷土料理作りに奮闘する中学生（写真左）

出来上がった料理は皆で楽しく試食！（写真左下）

JA阿蘇女性部は10月29日、中部事業所で阿蘇地区にキャンプに来ていた熊本市立錦ケ丘中1年生に、阿蘇の郷土料理教室を行いました。

「阿蘇の人々とふれあいの中で、魅力ある阿蘇を再発見しよう」というテーマで、いきなり団子・だご汁・鶏めしの3品の作り方を女性部員が指導。生徒達は初めての試みにやや苦戦しながらも、出来上がった料理に感激した様子でした。

女性部の大和副部長は「阿蘇の郷土料理の美味しさを知ってもらい良かった。まだまだ、阿蘇にはたくさんの魅力があるのでこれからも発見してほしい」と話していました。

「共済業務の統合について」のお知らせ

久木野支所・長陽支所にて行っております共済業務について、平成 27 年 3 月 31 日を以って終了し、4 月 1 日より阿蘇南中央支所へ業務を統合致します。管内組合員・契約者の皆様のご理解と今後のご利用を宜しくお願い致します。なお、詳しい内容につきましては、久木野支所・長陽支所・白水中央支所へお尋ね下さいますよう、お願い申し上げます。

久木野支所　℡0967-67-0035
長陽支所　℡0967-67-0511
白水中央支所　℡0967-62-9131

「信用事業店舗統廃合」のお知らせ

永年に亘り、ご愛顧賜りました下記の店舗において組織整備（支所の統廃合）に伴い各中央支所へ統合となります。つきましては管内利用の組合員・お客様におかれましては、大変お手数をおかけしますが、今後の取引につきましては統合店舗（中央支所）をご利用いただきますようお願い申し上げます。

尚、現金自動受払機（ＡＴＭ）につきましては現状どおりご利用出来ます。組合員ならびに利用者の皆様にご不便をお掛けすることのない様、万全の体制で取組みますので、今後ともなお一層のご利用ご愛顧のほど宜しくお願い申し上げます。

１．店舗統合日　平成２７年４月１日（水）
（対象店舗）馬見原支所、野尻支所、草部支所、長陽支所、久木野支所
＊平成２７年３月３１日（火）まで営業します。

２．現金自動受払機（ＡＴＭ）設置施設
・蘇陽中央支所、馬見原支所
・高森中央支所、野尻支所　草部物産館
・阿蘇南中央支所（現 白水中央支所）、久木野支所、長陽支所

３．統合店舗

統合後の店舗名（継続中央支所）		対象店舗	
蘇陽中央支所	0967-83-1135	馬見原支所	0967-83-0033
高森中央支所	0967-62-0521	野尻支所	0967-65-0311
		草部支所	0967-64-0311
阿蘇南中央支所（現 白水中央支所）	0967-62-9131	長陽支所	0967-67-0511
		久木野支所	0967-67-0035

４．詳しい内容については各中央支所・支所へお尋ね下さい。

理事会・監事会報告

■平成26年度第9回理事会

日時　平成26年9月29日午後1時30分
場所　一の宮中央支所会議室
○県常例検査講評（熊本県農林水産部団体支援課団体検査室）
1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
　8月末実績報告について
　1)購買業務規程の改正等について（案）
　2)農業委員（西原村）の推薦について
　3)平成27年度JA阿蘇職員二次募集について
　4)貸付金（利益相反取引）について
報告事項
　1)平成26年度米麦等棚卸監査回答書について
　2)平成26年度上期決算監事監査日程について
　3)内部統制等にかかる指導要綱・JAバンク基本方針
　　に基づく「体制整備モニタリング報告」について
　4)JA阿蘇不祥事再発防止策取組状況報告書
　　（平成26年8月末）について
　5)平成26年度非常勤理事研修会の開催について
　6)2014JA阿蘇総合展示会開催について
　7)平成26年産JA阿蘇米概算金について
　8)理事会日程変更について
　9)その他
4. 閉会

平成26年度第10回理事会

日時　平成26年10月30日午後1時30分
場所　一の宮中央支所会議室
1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
　委員会報告
　（総務専門委員会・金融共済専門委員会・経済専門委員会）
　平成26年度上半期決算実績報告について
　1)農業経営維持緊急特別対策資金の創設について（案）
　2)マイカーローン・教育ローンの優遇金利施策について（案）
　3)固定資産取得専決基準の改正及び
　　固定資産取得等内規について（案）
　4)貸付金について
報告事項
　1)平成26年度全国監査機構監査期中改善指示書について
　2)平成26年度内部監査実施状況報告書
　　（平成26年7月～9月）について
　3)平成26年度JA阿蘇不祥事未然防止のための行動計画
　　26年9月末進捗状況について
　4)顧客属性照会システム（CCS）の定期確認について
　5)平成26年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの
　　進捗状況（平成26年9月末）について　（↗）
　6)平成26年度余裕金運用状況及び今後の運用方針について
　7)JA阿蘇活動総合3ヶ年計画の26年9月末進捗状況について
　8)農機・自動車展示会開催について
　9)平成26年度土・日事故受付状況について
　10)南部地区支所再編説明会開催状況及び今後の対応について
　11)平成26年度米集荷状況について
　12)その他
4. 閉会

●平成26年度第7回監事会

日時　平成26年9月19日午後1時30分
場所　本所2階第1会議室
1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
　1) 平成26年度上期決算監事監査（案）について
　2) 平成26年度上期決算棚卸監査要領について
報告事項
　①常勤監事業務報告について（8月）
　②常勤会議報告について（第11回、第12回）
　③平成25年度JA決算状況について
　④全国JA常勤監事研修会議資料について
　⑤行事予定について
4. 閉会

●平成26年度第8回監事会

日時　平成26年10月22日午後1時30分
場所　本所2階第1会議室
1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
　1) 平成26年度米麦等棚卸監査回答書について
　2) 平成26年度上期決算棚卸監査取りまとめ事項について
　3) 平成26年度上期決算監事監査事務手続きについて
　4) 監事監査報告書の留意点について
　5) 監事監査回答書協議事項報告書（案）について
　6) 平成26年度熊本県常例検査指摘事項に
　　対する回答（案）について
報告事項
　①常勤監事業務報告について（9月）
　②常勤会議報告について（第13回、第14回）
　③内部監査実施状況報告について（7月～9月）
　④行事予定について
4. 閉会

農地をお持ちの皆さん
私に大事な農地を預けてください！

～私たちの子供や孫のために農地を守り、
未来へ引き継いでいきたいのです～

熊本県知事　蒲島郁夫

知事がトップを務める熊本県農業公社が農地中間管理機構となり、市町村・農業委員会・ＪＡと一体となって農地貸借の相談や手続きを行います！！

当分の間、農地を預かってほしい農業者

農地を相続された人

農地を貸したい人

農地中間管理機構
（熊本県農業公社）

市町村
農業委員会

ＪＡ

多くの借り手の方が待っています！

規模拡大を希望する農業者

新たに農業を始めようとする方

農地を借りたい人

○新しい制度となり

※ 申し込みのあった農地は、公社が、市町村、農業委員会、JA の協力のもと、借り手をお探しして、お預かりします。

※ お預かりした農地は、公社が責任をもって管理しますので安心です。

※ 貸借の相手との交渉や賃料の支払いは、公社が責任をもって行います。

お問い合わせ先
○熊本県農業公社　℡.096-213-1234　http://www.kumamoto-kousha.jp/
○お近くの市町村、農業委員会、ＪＡ

～ 税務署からのお知らせ ～

平成26年1月から 記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます

▶ 事業所得等を有する白色申告の方に対する現行の記帳・帳簿等の保存制度について、平成26年1月から対象となる方が拡大されます。

※ 現行の記帳・帳簿等の保存制度の対象者は、白色申告の方のうち前々年分あるいは前年分の事業所得等の金額の合計額が300万円を超える方です。

平成26年1月からの記帳・帳簿等保存制度

◎ 対象となる方

事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方です。

※ 所得税の申告が必要ない方も、記帳・帳簿等の保存制度の対象となります。

◎ 記帳する内容

売上げなどの収入金額、仕入れや経費に関する事項について、取引の年月日、売上先・仕入先その他の相手方の名称、金額、日々の売上げ・仕入れ・経費の金額等を帳簿に記載します。

記帳に当たっては、一つ一つの取引ごとではなく日々の合計金額をまとめて記載するなど、簡易な方法で記載してもよいことになっています。

◎ 帳簿等の保存

収入金額や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴って作成した帳簿や受け取った請求書・領収書などの書類を保存する必要があります。

【帳簿・書類の保存期間】

保存が必要なもの		保存期間
帳簿	収入金額や必要経費を記載した帳簿（法定帳簿）	７年
	業務に関して作成した上記以外の帳簿（任意帳簿）	５年
書類	決算に関して作成した棚卸表その他の書類	５年
	業務に関して作成し、又は受領した請求書、納品書、送り状、領収書などの書類	

税務署が実施する「記帳説明会」等については、最寄りの税務署の所得税担当までお問い合わせください。

阿蘇税務署（電話　０９６７−２２-０５５１）

※自動音声案内に従い、「２」番を選択してください。

●ＪＡ阿蘇青色申告会より白色申告のみなさまへ

税法上さまざまな特典（６５万控除・１０万控除等）を受けられる「**青色申告**」をはじめてみませんか？

面倒な事務処理のお手伝いをＪＡの青色申告会が致しますのでご安心ください。

※お問い合わせは下記の青色申告会事務局へ

ＪＡ阿蘇青色申告会（本所 営農部）ＴＥＬ：０９６７－２２－６１１５

対象商品	① 定期貯金［預入期間1年以上］ 30万円以上新規ご契約　② 定期積金［預入期間2年以上］ 100万円以上新規ご契約
キャンペーン期間	平成26年11月17日（月）～平成27年1月30日（金）

ちょきんぎょ®

☆ちょリスボールペンｏｒキーホルダープレゼント（先着順）
定期貯金10万円以上30万円未満（預入期間1年以上）新規ご契約
定期積金50万円以上100万円未満（預入期間2年以上）新規ご契約もしくは継続ご契約

☆ちょリスブランケットｏｒぬいぐるみプレゼント（先着順）
定期貯金200万円以上（預入期間1年以上）新規ご契約
※景品は数に限りがございます。品切れの際はご容赦ください。
※景品はお一人様1つまでとさせていただきます。

※既に当JAにお預け入れいただいている定期貯金解約後の新規ご契約は、金利上乗せの対象外となります。

※ご契約いただける方は個人の方に限ります。 ※上乗せ金利の適用は、お預け入れ時から初回満期日までの当初預け入れ期間のみとさせていただきます。自動継続後は店頭表示金利を適用します。 ※上乗せ金利は、今後の金利情勢その他の事情により、変更する場合があります。 ※中途解約された場合は、解約時の当JA所定の中途解約利率を適用させていただきます。 ※お利息（給付補填金）には復興特別所得税を付加した20.315%の税金がかかります。

JAの商品等について詳しくは店頭またはホームページでご確認ください。

［JA バンク熊本ホームページ］
http://kumamoto.jabank.org/

JAバンク熊本 検索

JA阿蘇